

# 近刊

コンパス21シリーズの10冊目『貧困と富一階級社会の実相』が今月下旬、発刊となります。

貧困をテーマに作家活動を精力的に続ける雨宮処凛さんの「アピール」など、人が人として扱われない社会を告発し、貧困と格差をもたらす資本主義の今日的な病理を明快にえぐる、学習会の最適のテキストです。

注文は『週刊新社会』分局や新社会党の事務所、新社会党中央本部へ。

A5版 88ページ

頒価600円(送料80円)

◆目次◆

- ・大富豪層の利益
- 北区議 福田 実
- 2、自治体・医療・教育でも広がる格差
- 野田市議 長南 博邦

### III 貧困の蓄積

- 1、機能不全にさせられている生活保護制度
- 三鷹市議 島崎 英治

- 2、障がい者貧者の構造
- 障がい者情報ネット
- 太田 耕造

- 3、母子家庭・ホームレス・孤独死
- 茨木市議 山下 慶喜
- 4、ぱっとみる雇用状況
- 小田 原人

- 5、貧困化と格差を推進する成果主義
- 津和 崇

### IV 闘う若者が増えています

ユニオンばちばち書記長

I この国で「普通に生きる」ことの難しさ

雨宮 処凛

V 福祉後進国日本から脱却を！

橋口 昌治

II 富の蓄積と偏在

生存権をめぐる攻防

1、政策的に作り出される大企業

石河 康国